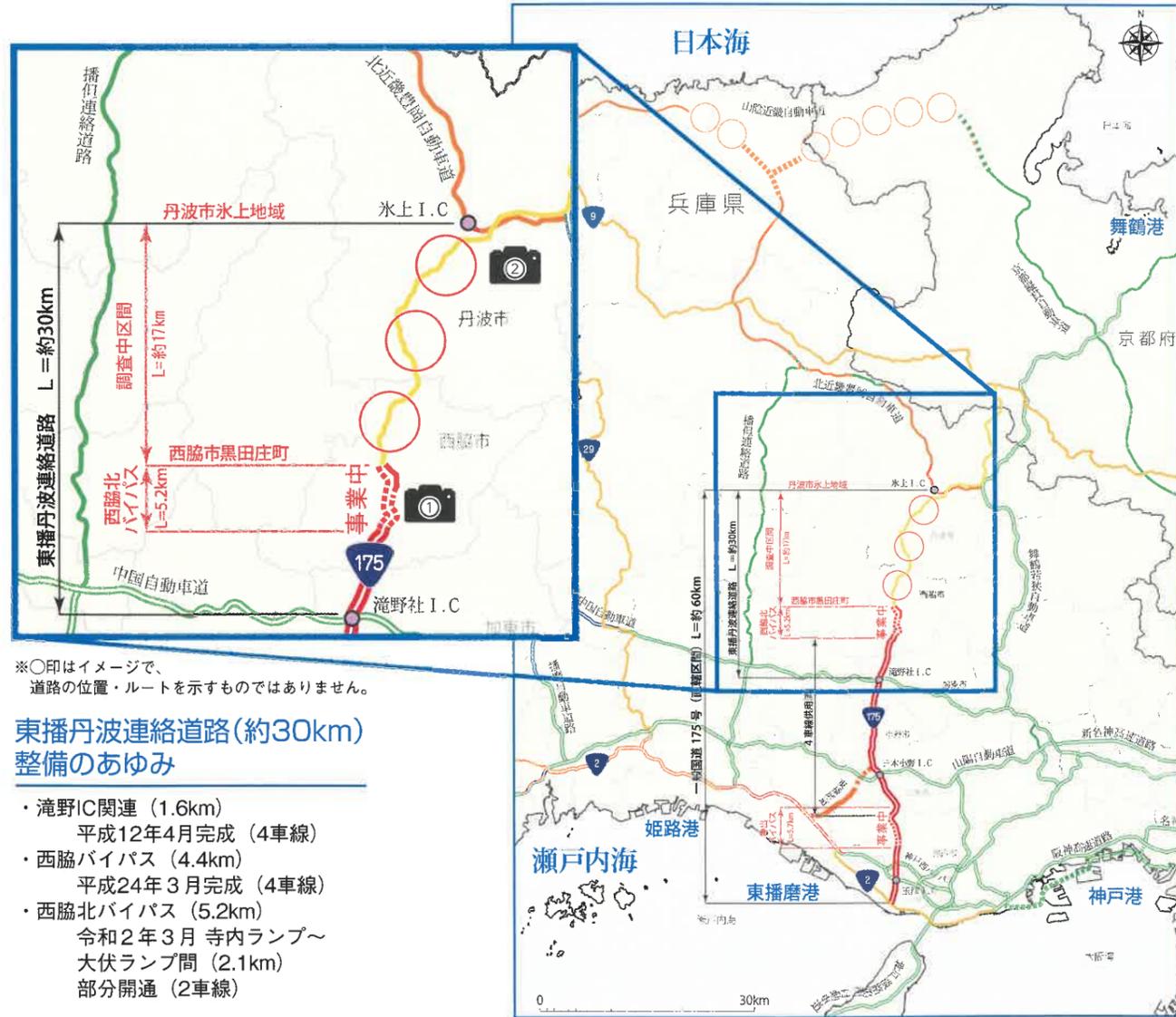


## 国道175号「東播丹波連絡道路」について

国道175号は、明石市から播磨及び丹波地域の諸都市を経て、京都府舞鶴市に至る総延長約129kmの主要幹線道路です。瀬戸内臨海工業地帯（東播磨港）と日本海側の重要港湾である舞鶴港を南北に結ぶとともに、山陽自動車道、中国自動車道や北近畿豊岡自動車道等の幹線道路を相互に結ぶ骨格路線として重要な役割を果たしています。

国道175号のうち、中国自動車道滝野社ICから北近畿豊岡自動車道氷上IC付近までの区間（約30km）は「東播丹波連絡道路」として、近畿ブロック及び兵庫県新広域道路交通計画に「高規格道路」として位置付けられています。また、兵庫県の基幹道路八連携軸の1つ「播磨丹波但馬軸」に位置付けられており、「地域産業の活性化」、「交流の拡大」、「緊急輸送機能の確保」、「交通安全の向上」などの様々な役割を担う基幹道路ネットワークを構成する道路として計画的に整備が進められています。



※○印はイメージで、道路の位置・ルートを示すものではありません。

### 東播丹波連絡道路(約30km)整備のあゆみ

- ・滝野IC関連 (1.6km)  
平成12年4月完成 (4車線)
- ・西脇バイパス (4.4km)  
平成24年3月完成 (4車線)
- ・西脇北バイパス (5.2km)  
令和2年3月 寺内ランプ～大伏ランプ間 (2.1km) 部分開通 (2車線)

①西脇市大伏ランプより丹波市方面を望む



②丹波市氷上ICより西脇市方面を望む



※○印はイメージで、道路の位置・ルートを示すものではありません。

# “国土強靱化、人流・物流を支えるネットワーク” 第6回 国道175号東播丹波連絡道路 早期実現促進大会



日時

令和7年8月30日(土)  
午後2時～

場所

## 西脇市市民交流施設「オリナスホール」

主催 国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進実行委員会

〈実行委員会構成〉西脇市、丹波市  
国道175号西脇北バイパス整備促進協議会、国道175号黒田庄バイパス整備促進協議会  
国道175号丹波市早期整備促進協議会

後援 一般国道175号整備促進期成同盟会

(会員市:神戸市、三木市、小野市、加東市、西脇市、丹波市)

## ごあいさつ

兵庫県の中央から中央東部に位置する北播磨・丹波地域は、日本海と瀬戸内海をつなぐ国道175号によって、県内外の都市や港湾とつながり日本各地や海外とも交流・交易を行いながら、それぞれ発展を遂げてきました。しかし、近年、様々な社会情勢の変化によって地域経済等は厳しい環境におかれ、また、自然災害は激甚化・頻発化しています。これらの変化にすばやく対応し、活力ある経済活動と安心できる日常生活をもたらす、持続可能で魅力ある地域を創造し、未来を担う世代へ引き継いでいくことが、私たちの使命です。

道路ネットワークは経済、産業、観光などの発展の基礎であり、救命救急や災害時における緊急輸送道路と地域安全保障のエッセンシャルネットワークとして、住民の命をつなぐ重要なインフラです。

国道175号(現道)は、広域な北播磨・丹波医療圏において、救急搬送の約8割を沿線病院に搬送する、まさに“命をつなぐ道路”です。

また、平成30年7月豪雨では、中国自動車道等、周辺の高規格道路が通行止めとなる中、広域迂回路としての機能を発揮し、災害時でもその重要性が再認識されました。

国道175号「東播丹波連絡道路」は、中国自動車道滝野社ICと北近畿豊岡自動車道氷上ICをつなぐ高規格道路として、現道の機能を強化する重要な道路です。特に令和8年春開通予定の西脇北バイパス、さらにその北の現在調査中区間である西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域を含めた全区間の開通は私たち地域の悲願です。

国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進大会は西脇市・丹波市の両地域が団結し、早期実現を期す活動として第1回大会を令和2年に開催しました。このたび、団結をさらに強め、活動を前に進めるため、第6回大会を開催いたします。

地域の新たな発展のため、「東播丹波連絡道路」早期実現に向けた皆様の力強い御支援を、よろしくごお願い申し上げます。

令和7年8月30日

### 国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進実行委員会

会長 片山 象三 (西脇市長)  
 副会長 林 時彦 (丹波市長)  
 藤井 照通 (国道175号西脇北バイパス整備促進協議会 会長)  
 藤本 俊一 (国道175号黒田庄バイパス整備促進協議会 会長)  
 里 尚 (国道175号丹波市早期整備促進協議会 会長)



令和8年春の供用に向けて工事の進む西脇北バイパスの(仮称)下戸田高架橋付近(令和7年7月撮影)

## 期待される効果【広域】

整備により兵庫県を南北に繋ぐ「播磨丹波但馬軸」の機能が強化され、兵庫県の南北間をはじめ、北陸・瀬戸内地域間の交通交流の活発化と、大規模災害発生時の救命・救急活動や復旧支援活動の迅速化が期待されます。



## 期待される効果【地域】

### 生産性の向上

○国道175号バイパスが整備された地域の製造業出荷額は、特に高い伸びが見られる。  
 ○東播丹波連絡道路を整備し、北近畿豊岡自動車道へ接続することにより、さらなる経済効果に期待

【兵庫県全体】	H15	12兆3,454億円	⇒R4	18兆3,402億円	【148%】
【整備済み沿線市】	H15	1兆1,876億円	⇒R4	2兆2,426億円	【188%】
【未整備沿線市】	H15	3,081億円	⇒R4	3,378億円	【109%】

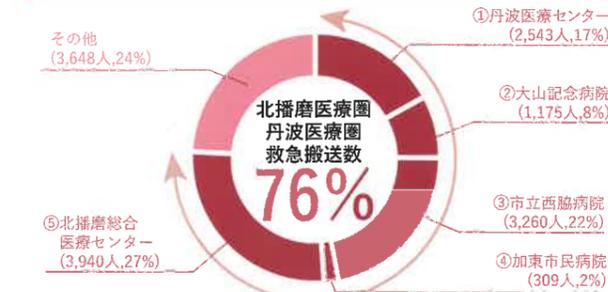
### 国道175号整備済み沿線市と未整備沿線市の製造業出荷額等



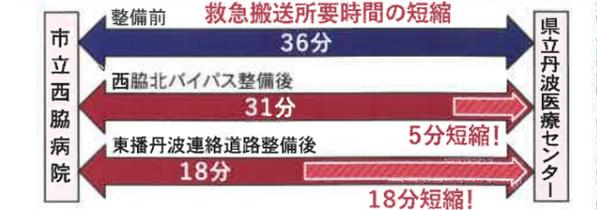
### 命をつなぐ道路ネットワークの構築

○北播磨・丹波医療圏は東京都23区の3倍の面積 ○北播磨・丹波医療圏の救急搬送の76%が175号沿線病院へ ○特に脳血管疾患や心疾患の2次・3次医療機関への時間短縮が命をつなぐ!!

### 北播磨・丹波医療圏は76%が国道175号沿線病院へ搬送



### 沿線病院連携ネットワークの強化



東播丹波連絡道路の整備により、救急搬送にかかる時間が半分に短縮し、救命率が向上!(呼吸停止後、未処置10分で約50%が死亡)

### 交通安全、渋滞の解消

### 災害対応の向上 など

出典：北はりま・三木市・小野市・丹波市消防本部統計資料(R6)

\*ルート未決定区間は、速度のみ設計速度80km/hで試算